

# 引地町政、始動



## 就任のご挨拶

先の国見町長選挙で、たくさんの方々のご支援をいただき、国見町長に就任しました。

今後4年間、私たちが生まれながらに持っている「幸せになる権利」を実現するため、皆さんの心をしっかりと受け止め、命を大切に誰もが幸せに暮らせる国見町を創ってまいります。そのために6つの目標を設けました。

## 誰もが健やかに暮らせるまち

私たちにとって大切な健康。一人ひとりの健康維持と公立藤田総合病院を核とした医療との両立・連携を強化します。また、障がいがあっても生活の質を高めるサポートを充実します。



## 安全・安心な優しいまち

道路、水路などの改修、新型コロナウイルス対策、一人暮らしや障がいのある方、家庭内暴力やいじめにあっている方などの心配事を掘り起こし、きめ細やかに対応する仕組みを拡充します。



## 未来へつながるまち

新型コロナウイルスに対応した学習環境や保育環境の整備、いじめ、発達障害の子どもや生活困窮世帯の子どもたちへの対応など、子育て・人づくり施策を再構築します。



## 地域資源を活かすまち

交通、農産物、文化、人…。国見町には先人から受け継いだ「宝もの」がたくさんあります。これらの再確認と全国へ発信していくことで、農商工業の活性化を図ります。



## 相互理解と共感のまち

今後のまちづくりは、町民・町・議会による自由な直接対話による相互理解と共感が大事になります。時間を要しますがそれぞれが納得した上で方向性を決定する仕組みを作ります。



## 町として持続するまち

人口減少、農商工業の活性化、空き家や鳥獣被害の増

## 任期満了による国見町長選挙は11月3日告示され、新人の引地真氏が初当選を果たしました。当選証書付与式は11月9日、国見町役場で行われ、齋藤弘町選挙管理委員長より引地氏に当選証書が付与されました。

引地町長は27日、支持者や職員に迎えられ、国見町役場に初登庁し、町民のみなさんへ「町政は一人で行けるものではありません。これからの4年間、みなさんと一緒に良い町づくりに取り組みたいです」と町政を担う決意表明をしました。初登庁後の就任式では、東海林一樹町議会議員と岡崎忠昭町教育長が歓迎の言葉を述べ、引地町長は「誰もが幸せに暮らせる町を創造するために私もみなさんと一緒に考え、行動しますので力を合わせて頑張りましょう」と職員へ訓示しました。

引地町長の任期は、令和2年11月27日から令和6年11月26日までの4年間となります。

加など課題はありますが、町の宝ものを核に、広い視野と柔軟な思考で、合併せず自律するまちとして次世代へつなぎます。



これまでの良いところは受け継ぎつつも前例にこだわらない攻めの施策を展開していくこととしますが、皆さんの共感をいただくことが実現できないことでもあります。皆さんと一緒に笑い、喜び、時には泣き、悲しむ…。心が通じ合う行政運営を目指し、今よりももっと幸せな国見町を創りたいと思っています。

これからの4年間、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

## 引地真

# 引地町政は6つの目標を中心に

『命を大切に、誰もが幸せに暮らせるまち』

### ●プロフィール

**引地真**（ひきちまこと）  
国見町徳江在住。61歳。  
東北学院大学法学部卒業後、昭和58年に町職員となり、生涯学習課長兼公民館長や総務課長などを歴任。今年3月に定年退職。



当選証書付与式



就任式で職員への訓示